

去る、5月26日に「令和8年度定時総会等」が、また6月5日には「令和8年度全国安全週間説明会」が開催されました。概要は下記のとおりです。

令和8年度定時総会・優良従業員表彰式

【 令和8年度定時総会 】

5月26日、ホテル テラスザスクエア日立において、会員31名、来賓4名、役員等30名、計65名の出席により開催されました。

総会は、

- ・令和7年度事業報告・決算報告
- ・会計監事による会計監査報告
- ・令和8年度事業計画・予算案

について審議が行われ、いずれも原案通り承認されました。

協会の事業は、会員の皆様のご協力により、計画に沿って順調に実施することが出来ました。誠に有難うございました。



(風間会長)

また、役員の一部改選については、理事3名の交代に関する議案が提案どおり承認されました。

総会閉会後には第2回理事会を開催し、後任の副会長及び、常任理事の選出が行われ、新体制がスタートしました。

役 職	事 業 所 名	氏 名	備考
会 長	(株)日立製作所 日立事業所	風 間 英 明	
副会長	(株)プロテリアル 茨城工場	井 川 真 吾	
〃	DAIKEN(株) 高萩工場	榎 並 宏 泰	新任
専務理事	(一社)日立労働基準協会	加 藤 和 夫	

総会には、ご来賓として、

茨城労働局労働基準部 部長 須藤 祥 様
同 監督課長 狩野 直美 様
日立市 経済産業部 参事 大貫 利之 様
日立労働基準監督署 署長 大久保一樹 様

にご臨席を賜り、ご来賓を代表して須藤様、大貫様によりご祝辞を頂戴いたしました。



(左から須藤様、大貫様、狩野様、大久保様)



【 令和8年度優良従業員表彰式 】

また、総会に先立ち同ホテルにおいて、大久保日立労働基準監督署長ご臨席のもと、永年にわたり職務に専念され、勤務態度良好で後輩への技術継承、指導などにより企業へ貢献をされている従業員 60 名に表彰状及び記念品が授与されました。

受賞者の皆様おめでとうございます。引き続きご活躍をお祈り申し上げます。



令和 8 年度全国安全週間説明会を開催

令和 8 年度全国安全週間説明会は、6 月 5 日、日立シビックセンター音楽ホールにおいて開催され、会員事業所の役員、ご担当者様をはじめ、関係者 1 7 0 余名のご参加をいただきました。

風間協会長、大久保日立労働基準監督署長のご挨拶



(風間会長)



(大久保署長)

日立労働基準監督署の五田第三方面主任監督官より説明

・安全週間実施要綱について

経営トップの所信表明、意思統一と安全意識の高揚、安全パトロールの実施などが求められています。

ｽｰｶﾞﾝ「多様な人材 全員参加 みんなで育てる安全職場」

・職場における熱中症対策の強化について

熱中症のおそれのある労働者の早期に発見するための連絡体制の整備、作業環境の改善、暑熱順化の実施などが事業者に義務付けられています。

・労働安全衛生関係手続(労働者死傷病報告等)について

令和 7 年 1 月 1 日から電子申請が義務化されています。

※「要綱」は協会ホームページのお知らせを参照ください。

令和7年労働災害発生状況（最新 R8.5 月）
（全産業の休業 4 日以上死傷災害）
茨城県内 3,137 (R6:3,221/△84)、
（うち死亡 19 (R6:22/△3)）
全国 135,333 (R6:135,718/△385)
（うち死亡 700 (R6:746/△46)）



特別講演：講師（吉田 裕児氏）

演題： チームづくりでパワハラを防止！慕われる上司の「言葉・行動・意識」

～働く人たちが自らルールや手順を実践したくなる現場マネジメント術～

・講師は、大手建設会社に 40 年間勤務、一級建築士として建物の建設に携わる傍ら、現場所長として 3,000 人以上の作業員・スタッフを指導し、これまでの経験を基に、2020 年に著書【部下が変わる本当の叱り方】を出版。現在は、本音で語り合い本気で頑張れる職場づくりを目指し、講演や研修を行っています。

・現場所長として順調だった業績が、ある日、部下が失踪、下請けが離れ、工期遅れで赤字になり、出世ラインからはずれる。

今までの、業績主義、部下の尻たたき、そんなこともできないのか、といった指示や指摘のみであったこと。これでは、部下は言われるほど自己防衛反応を起こし、受け止めるどころか反発、言い訳のみで改善に向かわないと気付く。

・リーダーと作業員の信頼関係を高めることが必要

今までの指摘、叱責から、この作業で墜落したらどうなるか、など質問したり応援したり、お互いを理解し(つながり一体感)信頼関係により、仕事の目的・目標を共有して、主体性が生じ(危険意識・思考)、～協力、自発的(行動)、～進捗確認、～フォローアップ、目標達成(結果)まで好循環させることで、安全意識を高め、目標を達成することが出来ることにつながると思います。

